

指定管理者制度導入施設の将来ビジョン

施設名	大分県立庄内屋内競技場
所在地	由布市庄内町大龍1314番地
県の所管部局(課・室)	教育庁 体育保健課
設置年月日	平成4年7月20日(設置から29年8か月)※令和4年4月1日現在
設置目的	県民の体育及びびスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

【検討結果】

施設の今後のあり方

存続 (利活用)	存続 (整理統合)	廃止
理由	<p>①ライフル射撃競技で県内唯一、県大会以上の大会を開くことのできる九州屈指の施設である。(R5年 九州ブロック大会、R6年 SAGA2024国民スポーツ大会の会場として予定。)</p> <p>②射撃部をもつ高校生が当施設を利用し、全国大会で団体、個人ともに上位の成績を収めており、県内ライフル競技の拠点となっている。県外の高校生も練習のために度々訪れており、充実した設備を備えたライフル場は少なく、競技全体の振興に寄与している。</p> <p>③ライフル射撃日本代表選手団の世界大会(ISSFワールドカップ)に向けた合宿が行われるなど、ライフル競技の拠点である。</p> <p>今後も、ライフル競技の拠点として、競技力向上のため引き続き存続する必要がある。</p>	
管理方法の検討	<p>指定管理制度導入以降、由布市への任意指定により由布市の庄内総合運動公園と一体となって管理を行うことで、経費面において効率的な運営ができています。</p> <p>しかしながら、多様化する住民ニーズに対して、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上と経費の削減等を図ることを目的としている指定管理の趣旨を十分に反映できているとはいえないことから、指定管理以外の方法も視野に入れ、管理方法について検討していく。</p>	

ビジョンの設定期間

ビジョンの設定期間	令和5年度～令和14年度
次回策定(中間見直し)	令和9年度(令和10年度～令和14年度)
次回指定管理者公募予定	令和5年度8月

存続の場合

1. 目指すべき施設像及び利用者像等

施設像	①県内のライフル射撃競技の拠点として競技力向上に寄与できる施設。 ②ソフトテニスなど他スポーツでの活用を含めた多様な活動のできる施設。		
利用者像	①ライフル射撃競技愛好者及び全国大会・オリンピック出場を目指す個人・団体 ②地域のスポーツ団体及びスポーツ愛好者		
定量的 目標達成指標	①	年間利用者数の増	～令和14年度 7,800人/年
	②	年間利用者数の増	①のうち、ライフル射撃利用者 6,000人/年
定性的 目標達成指標	①	ライフル射撃競技認知度向上のために、マスメディア、ホームページ、SNSを活用した普及啓発に取り組むとともに、国の代表チームや有力大学の合宿誘致等を推進する。	
	②	ライフル射撃競技で利用されない時間を有効活用し、ソフトテニスなど他のスポーツでの利用を促進する。	

2. 目指すべき像を達成するための課題とその解決策、実施方法・実施時期（解決への優先順に記載）

課題1	ライフル射撃競技への参加に関する課題 ライフル射撃競技の認知度の低さや、「危険」というネガティブなイメージがあり、競技参加へのハードルが高い。		
解決策	実弾を使用しないビームライフルなどの、安全性の高い競技の周知を行う。 ライフル射撃協会や県内高校ライフル射撃部による射撃体験を実施するなど、競技参加の機会を提供する。		
実施方法・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ライフル射撃協会による体験射撃の実施(10月～12月) 県内高校生(ライフル射撃部)と協力したビームライフル体験教室の実施(10月～12月) 		

(参考)	令和3年度(2021年度)	令和12年度(2030年度)	令和27年度(2045年度)
予測利用者数(人)	6,202	8,200	7,388
直近年度比		132.22%	119.12%

課題2	施設管理に関する課題（必須） 大規模な大会の開催のためには、基準に適合した設備が必須であるが、施設・設備の老朽化が進んでいる。
解決策	大規模大会開催に向け、施設設備・備品などの充実を図る。
実施方法・実施時期	（令和4年～令和9年までに整備） ・電子標的の拡充 ・照明器具の改善（蛍光灯→LED化） （令和14年までに整備） ・令和2年度から日本ライフル射撃協会主催で開催しているオンライン大会（全国大会）などを推進するため、インターネット環境の向上を図る。

課題3	指定管理者選定に関する課題 専用施設であるという特性及び立地などから、民間事業者の受託が難しい。
解決策	民間のノウハウを活用してサービス向上を図るという指定管理者制度の趣旨を十分反映できておらず、他の管理方法を含めて検討を行う。
実施方法・実施時期	（令和4年度～令和5年度） 指定管理者制度以外の管理運営方法の検討。

課題4	人口減少・少子高齢化に関する課題（必須） 少子化による競技人口の減少、健康で活力に満ちた長寿社会を実現するため、高齢者の運動機会を創出すること。
解決策	激しい運動を伴わない競技として、競技周知を行い、高齢者を含めた幅広い年齢層の競技人口を増やす。 ライフル競技団体が使用しない時間帯や期日での他のスポーツの利用者の増加
実施方法・実施時期	・ライフル射撃協会による体験射撃の実施（10月～12月） ・県内高校生（ライフル射撃部）と協力したビームライフル体験教室の実施（10月～12月） ・ライフル射撃協会との調整を密に行い、他のスポーツ利用者の増加を図る。